

第98回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：令和2年8月25日（火）10：00～10：05
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

それでは、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。
議題の1つ目「令和3年度国の予算に向けた取組」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。「令和3年度国の予算に向けた取組」について説明します。これまでの国との調整状況や市町村からの声などを踏まえつつ、今後、特に国に対して、予算の確保に向け、訴えなければならない項目をまとめたものです。

左側の現状・課題を御覧ください。新型コロナウイルス感染症による影響は復興事業にも及んでおり、人々の価値観・行動や社会経済システムの変容を適切に反映させる必要があります。こうした状況の中、今年6月には福島特措法が改正されるとともに、7月には令和3年度以降の復興事業費の枠組みが決定されるなど、本県の復興を支える土台が強化されたところでもあります。避難地域においては、今春、全町避難が続く双葉町を含めた帰還困難区域の一部等で避難指示が解除されるなど、復興の歩みを着実に進めております。また、引き続き風評・風化対策に取り組む必要があるとともに、福島イノベーション構想については、福島ロボットテストフィールドなどの拠点を核に、産業集積や人材育成に取り組むことで、構想の具体化を図ってまいります。

右側「特に訴えるべき視点」ですが、第2期復興・創生期間のふくしまの復興・創生に向けて共通する視点のほか、1. 避難地域の復興・再生、2. 風評払拭・風化防止対策の強化、3. 福島イノベーション・コースト構想の推進、4. 新産業の創出及び地域産業の再生、5. 復興を支えるインフラ等の環境整備の各項目に沿って、本県の現状や課題を訴え、国と最後まで調整を進め、予算の確保に努めてまいります。

【鈴木副知事】

今の件について何かありますか。なければ、知事からお願いいたします。

【知事】

これまで、福島の復興・創生に重要な3つの点について、政府に対して幾度も要望を重ねてきました。1つ目は組織・体制です。復興庁が今後も継続をすることとなりました。2つ目は制度です。福島復興再生特別措置法を始め関係法案が先般成立し、今後とも福島県に対しての優遇制度等が確立されました。3つ目は財源です。第2期復興・創生期間における財源フレームが固まって、安定的な財源確保が可能になりました。こういった3点を踏まえ、第2期復興・創生期間の5年間、重要な期間となりますが、福島の復興・創生を更に前に進めていくために、まず令和3年度の当初予算をしっかりと確保していくことが重要です。

県職員一人一人、そしてこの会場にいる各部局長がリーダーシップを取りながら県民の皆さん、あるいは避難地域の住民の思いをしっかりと心において復興・創生のために必要な予算確保について、関係省庁等としっかりと進めてください。

【鈴木副知事】

それでは2つ目、「応急仮設住宅の供与期間の延長」について、避難地域復興局長。

【避難地域復興局長】

資料2を御覧ください。応急仮設住宅については、大熊町、双葉町で来年の3月までの供与となっておりますが、避難指示が解除された区域は一部に限られ、帰還環境の整備や生活再建の見通しに時間を要することから、更に1年間延長して令和4年3月までとするものであります。

今後も、生活環境の整備に向けてしっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありませんか。なければ、原案のとおり決定することといたします。

知事からお願いします。

【知事】

震災から10年目を迎え、住まいや今後の生活の見通しなど、避難者の皆さんが抱える課題は個別化・複雑化しています。

引き続き、避難されている皆さんが一日も早く生活再建できるよう、国、関係自治体等と連携して丁寧に取り組んでください。

【鈴木副知事】

次に報告事項です。「復興・再生のあゆみ」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料3-1「復興・再生のあゆみ」を御覧ください。3月に発行した初版を更新いたしました。イノベ構想に係る記載内容の充実を図ったほか、新型コロナウイルス感染症のページを追加いたしました。

なお、「復興・再生のあゆみ」の基礎資料となる資料3-2の「ふくしま復興のあゆみ」も併せて更新し、公表いたします。

続きまして、資料3-3「“新生ふくしま”2020年に向けて」を御覧ください。9月20日に開館予定の東日本大震災・原子力災害伝承館や10月に供用開始予定の大熊町リサイクルセンター等の各施設を追加した他、各拠点・取組について追加や時点更新をしております。

【鈴木副知事】

以上で、復興推進本部会議を閉じます。